

プライマリーバランス（基礎的財政収支）

通常、プライマリーバランスは、歳入から地方債の新規借入額を除いた額、歳出から公債費を除いた額で求められる収支のバランスです。

しかし、歳入の基金繰入金、繰越金、歳出の基金積立金については、正味のその年度の収入支出とはいえ性質のものであるため、ここでは通常の地方債、公債費のみを除いたものと、そこからさらに歳入の基金繰入金、繰越金、歳出の基金積立金を除いたもの、2種類の収支を求め記載しています。

平成21年度以降のプライマリーバランスについては、概ね黒字で推移していますが、平成26年度～平成29年度は、赤字になりました。これは、平成26年度・平成27年度は、五條市の新し尿処理施設整備負担金、南和広域医療企業団の新病院建設負担金が、平成28年度は南和広域医療企業団整備事業の負担金や吉野山簡易水道整備事業、平成29年度は南和広域医療企業団の地域医療センター改修事業や家庭ごみ収集の直営化に伴う事務所・車両等の整備事業、旧国栖小学校跡地整備事業などの財源として大規模な建設事業実施に伴い多額の地方債を新規に借入れたためです。

平成30年度以降についてもさくら広域環境衛生組合の廃棄物処理施設整備に伴う負担金などにより地方債の新規借入額が多い状態が続く見込みであり、プライマリーバランスは赤字になる可能性があります。

(単位：千円)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
①歳入合計額	6,194,654	5,812,328	5,264,836	5,468,360	5,741,400	5,742,299	6,042,574	5,683,158	5,884,354
②基金繰入金	19,533	15,229	32,671	203,010	48,096	218,616	113,000	157,410	390,632
③繰越金	241,587	406,510	331,384	476,736	459,672	378,341	347,887	461,197	402,801
④新規借入額	710,700	376,950	292,022	301,600	542,100	620,500	947,000	651,200	552,100
Ⅰ. 基礎的財政収入 (①-④)	5,483,954	5,435,378	4,972,814	5,166,760	5,199,300	5,121,799	5,095,574	5,031,958	5,332,254
Ⅱ. 基礎的財政収入 (①-②-③-④)	5,222,834	5,013,639	4,608,759	4,487,014	4,691,532	4,524,842	4,634,687	4,413,351	4,538,821
⑤歳出合計	5,788,144	5,480,944	4,788,100	5,008,688	5,363,059	5,394,412	5,581,377	5,297,224	5,444,445
⑥基金積立金	294,489	571,266	178,378	205,807	205,280	95,641	199,604	253,239	276,476
⑦公債費	765,237	709,247	614,448	606,075	645,865	600,194	558,885	519,431	563,587
Ⅲ. 基礎的財政支出 (⑤-⑦)	5,022,907	4,771,697	4,173,652	4,402,613	4,717,194	4,794,218	5,022,492	4,777,793	4,880,858
Ⅳ. 基礎的財政支出 (⑤-⑥-⑦)	4,728,418	4,200,431	3,995,274	4,196,806	4,511,914	4,698,577	4,822,888	4,524,554	4,604,382
ア) プライマリーバランス (Ⅰ-Ⅲ) ※	461,047	663,681	799,162	764,147	482,106	327,581	73,082	254,165	451,396
イ) プライマリーバランス (Ⅱ-Ⅳ) ※	494,416	813,208	613,485	290,208	179,618	▲ 173,735	▲ 188,201	▲ 111,203	▲ 65,561

※通常の歳入から地方債、歳出から公債費を除いたものが、ア) プライマリーバランス。そこからさらに歳入から基金繰入金、繰越金、歳出から基金積立金を除いたものが、イ) プライマリーバランスです。